

第1回「革新的なエネルギー技術の国際共同研究開発事業」

研究資金制度プログラム 中間評価検討会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成29年12月8日(金) 10:00~12:00

2. 場 所 経済産業省別館6階628会議室

3. 出席者

(検討会委員) [敬称略・五十音順、※は座長]

池谷 知彦 電力中央研究所 材料科学研究所 研究参事

井上 剛良 東京工業大学 工学院 教授

※角南 篤 政策研究大学院大学 教授

府川 伊三郎 旭リサーチセンター シニアリサーチャー

本藤 祐樹 横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授

(研究開発実施者)

小林 哲彦 産業技術総合研究所 理事

小原 春彦 産業技術総合研究所

エネルギー環境領域 研究戦略部 部長

原市 聡 産業技術総合研究所

エレクトロニクス製造領域 研究戦略部 部長

伊藤 利充 産業技術総合研究所

電子光技術研究部門 上級主任研究員

真部 高明 産業技術総合研究所

先進コーティング技術研究センター チーム長

乾 将行 地球環境産業技術研究機構

バイオ研究グループ グループリーダー

岡田 至崇 東京大学 先端科学技術研究センター 教授

久保 貴哉 東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授

松本 広重 九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー

国際研究所 教授

(事務局)

産業技術環境局国際室

室長	伊藤	隆庸
課長補佐	坂本	紀代美
係員	藤田	ひかる

(評価推進課)

産業技術環境局技術評価室

課長補佐 松島 隆男

4. 配布資料

- 資料 1 評価検討会委員名簿
- 資料 2 研究開発評価に係る委員会等の公開について
- 資料 3 経済産業省における研究開発評価について
- 資料 4 評価方法 (案)
- 資料 5 「革新的なエネルギー技術の国際共同研究開発事業」
研究資金制度プログラムの概要
- 資料 6 評価用資料
- 資料 7 「革新的なエネルギー技術の国際共同研究開発事業」
技術評価結果報告書の構成について (案)
- 資料 8 評価コメント票
- 参考資料 1 経済産業省技術評価指針
- 参考資料 2 経済産業省技術評価指針に基づく標準的評価項目・評価基準
- 参考資料 3 平成 26 年度事前技術評価書
- 参考資料 4 補足資料

5. 議事概要

(1) 座長選出

委員の互選によって、角南委員が本検討会の座長に選出された。

(2) 評価検討会の公開について

事務局から、資料 2 により、評価検討会の公開について説明がなされた後、本評価検討会について、会議、配付資料、議事録及び議事要旨を公開とすることが了承された。

(3) 評価の方法等について

事務局から、資料 3、4、8 により、評価の方法等について説明がなされ、了承された。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・当省（国）が実施する妥当性において、経済産業省が実施する妥当性として考えるべきか、または国が実施する妥当性として考えるべきかという質問に対し、国が実施する妥当性として考える旨返答した。

（４）制度の概要について

事務局及び実施者から、資料５、６及び参考資料４により、「革新的なエネルギー技術の国際共同研究開発事業」研究資金制度プログラムの概要について説明がなされた。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・費用対効果について、参考指標としている科学技術指標のデータには人件費や組織運営費等が含まれているので比較が難しいとのコメントがあった。
- ・相手国機関との共同研究でどのようなメリットがあったのか、どの部分を共同で研究しているのかについて、追加で情報を提出することになった。
- ・アウトカムの設定について、個々の採択プロジェクトがどの程度進捗したのかを確認する方が、適切な指標ではないかとの意見があった。
- ・個別テーマのアウトプットについて、革新的技術として適切な目標値となっているか確認できる情報が欲しいとの意見を踏まえ、資料を追加することになった。

（５）今後の予定について

評価コメント票の提出期限を平成２９年１２月２２日とすることを確認した。また、第２回評価検討会を平成３０年２月までに書面審議することとした。

以上